

綱 領

われわれJayceeは社会的・国家的・国際的な責任を自覚し志を同じうする者、相集い、力を合わせ青年としての英知と勇氣と情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げよう。

JCI 福島JCニュース

FUKUSHIMA
JUNIOR CHAMBER
OF COMMERCE

—福島青年会議所新聞—

福島青年会議所新聞

WEB版 Vol.499

発行責任者 高橋 美博
編集責任者 渡辺 忍
発行日：2016年7月

第29回 わんぱく相撲福島LOM大会

ふくしまの希望育成委員会
委員長 瀬戸 秀典



第29回わんぱく相撲福島LOM大会は、平成28年7月31日東京両国国技館で開催される「第31回わんぱく相撲全国大会」RESPECT～お互いを敬い思いやる心～の、福島県北地区予選として開催されました。全国大会に出場するにはLOM大会で勝ちあがり、ブロック大会と呼ばれる都道府県代表を決める最終予選大会が本年度は会津坂下で開かれ、ここで代表選手に選ばれ、東京の両国国技館、大相撲と同じ土俵の上で、各学年のトーナメント形式の取組が行われます。地方大会からの参加者は、約40,000人。まさに、日本の小学生力士の晴れ舞台となります。

本大会は、福島県県北相撲協会との共催、福島市、福島市教育委員会の後援をいただき、平成28年4月29日、学校法人松韻学園福島高等学校室内相撲場にて開催することができました。当日は、福島県県北相撲協会会長 佐久間 行夫様、同協会理事長 矢吹 庄治様、(公社)二本松青年会議所 理事長神野 聴文君、(公社)だて青年会議所 理事長 菅野 譲君にご臨席賜り盛大に開催することができました。また、大会前には、福島県県北相撲協会より相撲の基本について、県北相撲協会事務局の二瓶 顕人様より実技指導をいただき、大会終了後には、ちゃんこ振舞い教室として、県北相撲協会副理事長、大波 政志様よりご講義いただきました。

選手達は少数精鋭でしたが、各学年全国大会でも上位の実力を持つ選手達がそろっており福島県北地区の相撲レベルの高さを実感できる大会でした。実際に6月11日に開催された、平成28年度

福島ブロック大会会津坂下場所（福島県大会）では、小学6年生男子の部、小学5年生男子の部、小学4年生男子の部で完全優勝を果たし、全国大会へと駒を進めることができ、アトラクションとして開催された、6年生女子の部、団体男子の部で優勝、団体女子の部が準優勝と輝かし成績をおさめることができました。

このわんぱく相撲は、ただ相撲選手を育成する大会ではなく、青少年健全育成事業であり心の成長を手助けする大会でもあります。全国大会では、参加選手と引率メンバーが各相撲部屋に宿泊し、部屋の親方や、力士に指導いただき夢を育み、共同生活を体験し、心を成長させるプログラムとなっておりますので我々、ふくしまの希望育成委員会メンバーは最後まで選手達を応援していきたいと考えております。



2016年5月15日日曜日、「第4回信夫山パークランニングレース～信夫山を桃色に染めよう～」を開催致しました。本年も雲一つない晴天の下、831名の方にご参加いただき、新緑の信夫山を爽やかに駆け抜けていただきました。

本事業は、福島市のシンボルである信夫山の魅力を全国に発信すること、そして信夫山の魅力を高めることを目的に開催致しました。

パークランニングレースのコースは、昨年と同様に護國神社をスタート・ゴールとする10km・5km・3kmの三つをご用意しました。



それぞれ男女別の表彰とし、3kmについては小学生以下の子どもと大人のペア部門も設けました。どのコースも信夫山内の名所を通るように設定されており、タイムだけではなく、名所や眺望を楽しんでいただけたものと思っています。

本年は、10kmコースには344名、5kmコースには153名、3kmコースには158名、3kmペアコースには88組176名が参加していただきました。毎年参加人数が増えてきていますが、それに連れて10kmコース参加者が大きく増えることとなっています。本格的なランナーの方の参加が増えてきているものと感じています。

参加者の方には大会記念Tシャツと食ブースで使用できる500円分の食券を参加賞としてお渡し



しました。食ブースは信夫山太子堂公園に展開し、福島産の食材をふんだんに使用したお弁当や惣菜、スイーツが提供されました。桜の聖母短期大学の生徒さんが考案した季節のお弁当やアスリート疲労回復弁当も提供されました。また、給水所では福島産のいちごがふるまわれました。開会式やレース後には川俣の山木屋太鼓の勇壮な演奏も行われ、参加者の皆様には信夫山だけではなく、福島の魅力を存分に味わっていただけたものと思っています。

レース後は、小林香福島市長にもお越しいただきまして植樹式を催しました。第1回大会からソメイヨシノの信夫山への植樹を続けてまいりました。本年はソメイヨシノを3本、サツキツツジを50株植樹しました。サツキツツジは子どもが植樹するのに最適なサイズでしたので、たくさんの子どもの子どもが植樹を行いました。これでソメイヨシノの植樹数は累計で50本を超えました。信夫山が花でいっぱいになるように今後も続けていきたいと考えています。植樹をした参加者の方々が自分で植えた木の成長を楽しみに信夫山を訪れるようになっていただければ非常にうれしいことです。



本年は、北は北海道から南は三重県からの参加者があり、県外からの参加者も多数集まりました。アンケートによると、参加者の93.5%の方が本事業に満足したと回答し、97.8%の方が継続開催を望んでいます。また、97.2%の方が信夫山の魅力を感じたと回答しています。そして、福島市市民の参加者のうち99%の方が、本事業を通じて福島市への地域愛を感じることができたことと回答しています。アンケート結果から、本事業を開催することができて本当によかったと感じています。

最後となりますが、本事業の開催に際しては本当に多くの方々にご協力をいただきました。たくさんのご協賛、そしてたくさんボランティアの方々に支えられて無事に開催をすることができました。担当委員会を代表致しまして心より御礼申し上げます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



新入会員紹介



佐藤 孝明
山際 喬紘

広島大学ブッククラブ
委員会



菅野 太喜
新村 隆文

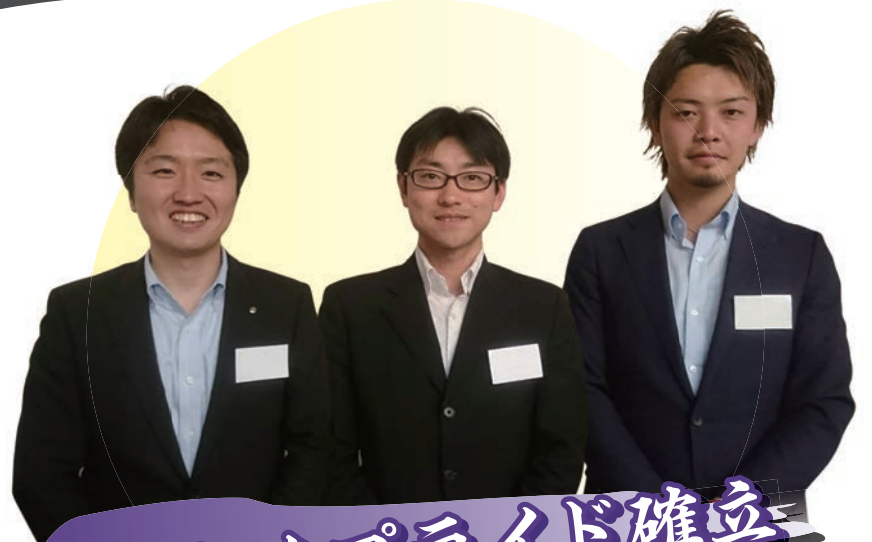
福岡の希望育成
委員会



赤間 亮介
澤田 健
籬野 良美

歳時記魂交流 委員会

伊豆 浩幸
高野 智宏
山尾 祥大



ふくしまプライド確立 委員会



徳永 直也
番匠 啓太
渡邊 恒博

LOM運営 委員会